



第三中学校だより

校訓

- 健康な体
- 豊かな心
- たゆまぬ学習

学校教育目標

気づき・考え・挑戦する ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1
 Tel 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>
 なやみごと相談メール j3-3chu@wako-city.ed.jp 相談室 TEL461-6698

令和5年12月1日発行

教材・教具を大切にすること

校長 近藤 克代



日本には、春夏秋冬の四季があり、その季節に応じた情景や食を楽しみながら時の流れを感じることができるはずですが…。今年の「秋」は、だいぶ奥手だったのかもしれませんが。最近は、ようやく晩秋らしくなり、冬支度をはじめめる気候になってきました。12月に入ると、間もなく終わる2学期のまとめと並行に、令和6年度の計画を考えていく時期となります。「師走（しわす）」と読んで字のごとく、学校（教師・職員）は、慌ただしい一日を過ごしますが、その慌ただしさの中にも、

一年を無事に締めくくり、迎える新しい年もより充実した学校生活となるようにとワクワクしながら考え、計画する楽しみも「師走（しわす）」ならではかもしれません。

さて、左上の写真は、3年生が使用している教科書です。先日、学習の成果を測る第3回定期テストが11月21・22日に実施されました。定期テストの内容は、授業の内容が中心に出題されるので、教科書を何度も見直しをするなど、テストのための学習に十分活用したと思います。考えてみれば、人は様々な学び（学習や経験）を通して成長していきますが、果たして「成長」という目標を定めたとすれば、その目標が達成する時まで、いったい何冊の教科書や参考書を活用することとなるのでしょうか。時折、授業の様子をのぞいてみると、教科書に付箋をしながらメモを記している生徒や、重要事項と感じた部分にマーカー等で記しを付けたりと、教科書を自分の大事な学習用具の一つとして大切に扱っている生徒の姿が多くみられます。そして、一時間一時間の授業を大事にしている様子（学習態度）も、教科書の使用の仕方から垣間見えることができるのです。

各学校は実態に応じた学習等に関する研修を実施しています。本校は「生徒の意欲・関心を高め、生徒の主体性を引き出す授業～探究的に学んでいく生徒の育成を目指して～」を校内研修のテーマとしてます。この研究を進めるにあたり、生徒へ学習に関するアンケートを行いました。24項目の内、右の結果は『面白さ、楽しさ』についての調査項目です。生徒は自分の興味のある分野であれば、知的好奇心が刺激され、新しい知識を取り入れたいという欲求から勉強が楽しいと感じるようになり、「もっと勉強したい」と思うようになると分析できました。

授業で教科書等の学習用具を活用しながら、今しかできない学びができるよう、私たちは研修を重ねています。そして更に学習意欲が高められるよう、新しい年を迎える準備の一つとして2学期に学習した内容を家庭でも見直し、良い年を迎えてほしいと願っております。

【認知・感情 要素：面白さ、楽しさ】

5. いろいろなことを学ぶのは楽しい。

	1年	2年	3年
あてはまる	39.9	23.5	41.2
ややあてはまる	40.5	52.3	38.5
あまりあてはまらない	16.3	18.2	16.2
あてはまらない	3.3	6.0	4.1